

まだ女性との性体験を  
積んでいない男性が、

S 級美女にまで

好かれる器（うつわ）

の作り方

# 著作権について

このレポートは、著作権法で保護されている著作物です。  
本書の使用につきましては、以下の点にご注意ください。

事前に著作権者の許可を得ずして、本書の一部または全部を、あらゆるデータへの複製及び、転載することを禁じます。

特にインターネット上に、内容を公開した場合は、法的な手段がとられます  
のでご注意ください。

こんにちは、塩野です。

この度は、私の無料レポートを開封していただき、ありがとうございます。

こうして、

私のレポートを読んで下さっているということは、

なんらか、縁があったのだと思います。

そんなあなたに向けて、

これから出し惜しみなく、大切なことをお伝えしていく所存です。

ぜひ、最後までお読みください。

9000文字弱のレポートです。

...

まず。

おそらくあなたは、これまで女性に対して、

**何かしらのコンプレックス**を抱きながら、

生きてきたのだと思います。

- ・今まで、彼女がいたことがない。
- ・まだ女性との性体験（セックス）を経験をしたことがない。
- ・同窓会などで久しぶりに会った友人には、彼女が出来ていて、まだいない自分に対して、いつも自信を無くしてしまう。
- ・失恋の経験しかない。
- ・女の子から、恋愛対象として見られた経験がない。

などなど。

辛い経験を、たくさんしてきたのだと思います。

なぜ、これらの問題を引き起こしてしまうのか？

単純に、

## モテない

という一言に尽きるのかもしれませんが、  
事はそれほど単純ではない、というのが私の見解です。

どういうことか？

モテないから彼女ができないのではなく、

あなたが心から欲しいと思っている女性のレベルが高いことが、  
ネックになっている、ということです。

簡単に言うと、

理想が... **高い**

というやつです。

しかし私は、これを否定するつもりは毛頭ありません。

そこらへんの、恋愛サイトに書いてあるような  
「高望みは、やめましょう。」

とか、

「減点方式ではなく、加点方式に切り替えましょう。」

とか、

そんな毒にも薬にもならないことは、言いません。

そんなのは、

あなたの夢と希望を潰すだけのアドバイスでしかない、

と思っているからです。

だって、そうですよね？

誰もが羨む、**S級美女**を手に入れたい！

と心から願っているのに、

「そんな高望みはやめて、B級やC級女子にしておきましょう。」

なんてアドバイスは、**迷惑**でしかない、  
ということです。

もし、そんなふうに考えて、B級やC級だと判断した  
女の子に近づいて行ったのなら、それはその女の子に対して、

**多大なる失礼**をしている

ということになります。

それによって、その子は傷ついてしまいます。

仮に、そうやって始めた恋愛があったとして、  
最初は上手くいったとしても、必ずどこかの時点で終わってしまう。

なぜか？

妥協したために、  
S級美女を見る機会があれば、  
あなたの意識は絶対にそちらの方向へ向かうから。

“自分は、愛されていない”と感じ取る女の子の直観は、  
**とても正確**です。

言葉にする力は、あまりなかったとしても、  
本質を感じ取る力は、女性はものすごく優れています。

そういった意味でも、  
妥協した女性にアプローチを仕掛けるべきではないでしょう。

だからあなたは、あなたの求める現実を手に入れなければならないのです。

つまり、**理想の恋人を手に入れる**、という現実

です。

私は、求める女性のレベルが高いことは、  
すごく良いことだと考えるタイプの人間です。(私自身が、そうです。)

なぜなら、その理想の高さは、  
あなたの人間的魅力を高める、一番の原動力になるから。

「モデルのような、女優のようなキレイな子と、絶対に付き合いたい！！」

という心の底からの願いは、その人の最大のエネルギー源になる、ということ  
です。

男が持つ、最大エネルギーは、

**性欲**です。

それを、

「いやらしい」とか、

「道徳的によくない！」とかって考えてる人間は、

何かの間違った社会通念に囚われた人です。

そんな洗脳された人の言葉なんて、

**どうでもいい。**

あなたはあなたの欲求を認めて、  
その力を最大限に利用していくべきです。

それはすなわち、  
「モデルや、女優のような、誰が見てもキレイだと思うような子を恋人にしたい！」

という、純粹な欲求を認める、  
ということです。

そうすると、  
必然的に立ちどころ試練、というものがあります。

それは今、  
あなたが抱えているような問題ですね。

そんなキレイな子とは、なかなか出会えないだろうし、  
出会えたとしても、その子を射止めるだけの魅力も備えられていない。

なぜなら、恋愛経験を積むことができずに、

男を磨くことができていないから。

ここが、一番苦しいわけです。

**だったら、恋愛経験を積もう！**

という結論に至るわけですが、  
とはいうものの、恋愛経験を積むために  
ハードルを下げる、なんてことはできないわけです。

理由は、先ほど話した通りです。

妥協して、B級やC級だと判断した女の子との恋愛は、  
100%失敗するからです。

モデルや女優のような、  
**S級美女を、恋人にしたい！**

という純粋な気持ちを持っているが故の、  
“恋愛経験を積むことができない”、という悪循環ですね。

これは、モテずに恋愛に悩んでいる、  
というよりは、あなたがS級美女をものにしたい！と本気で考えているのにも関わらず、その実現方法が分からないことが原因になっています。

“どうすれば、この本気の想いを叶えられるのか？”

“何をすればいいのか、全くわからない・・・。”

ここに**絶望**を感じると思うのです。

どうすれば、道が切り開かれるのか・・・？

・・・

まず、私からあなたにハッキリ言えることは、

実はあなたは、**男としてのレベルが非常に高い**、

ということです。

なぜか？

人は、自分と同じレベルの人としか

親しくなろうとは、思わないから、です。

S級美女と付き合いたい！  
という欲求は、言い換えれば、

S級美女と親しくなりたい！  
という願いである、ということです。

この想いをもちづけていられる（つまり、本気である）、  
ということが、

あなたが、誰もが羨むS級美女にふさわしい、

**S級男子の素質**を持っていることの**証明**なんです。

だからまず、

あなたには、S級美女を引き寄せられるだけの力を

**潜在的に持っている**、ということをお覚えておいてくだ

さい。

問題なのは、その力を、  
どうやって引き出していくか？

ということにあります。

それを紐解くには、

なぜ、  
S級美女を引き寄せる力が発揮できずにい  
るのか？

という部分の理解を深めると、  
自ずと解決策が見えてきます。

...

少し、人間の本質についての話をします。

人間には、“アクセル”と“ブレーキ”の両方を持って  
生まれてきています。

アクセルとは、**性欲**、  
ブレーキとは、**良心**です。

そうした時に、  
過去 20 世紀、特に戦争が終結した、1945 年以降の日本社会では、

アクセルとブレーキ、  
どちらが優位の社会だったか？

たとえば、それは圧倒的に、  
**アクセル（性欲）** が優位の社会だった、ということが言  
えます。

戦後、日本は焼け野原となり、  
食べる物すら、不足感を感じていた時代でした。

そんな時代の中で、  
生まれてきた団塊世代（1947年～1949年生まれ）の人たちは、

物質的な不足の中で生まれたので、  
必然的に、不自由を強いられる環境の中で、幼少期を過ごしました。

“食べるものが少ない……。”

“その他の生活に必要な物も、普及していない……。”

“こんなのは嫌だ！

もっと**物質的に豊かな社会**にしたい！”

そう考える子供たちが、大人へと育っていきます。

彼らが、  
社会に出て働くようになれば、当然

## 物質的に豊かな社会にするぞ！

と、やる気を出して、めちゃくちゃ頑張るわけです。

彼らは、日本社会を良くするために、  
闘争本能が強く、結果的に、性欲も強かった（仕事をするため）、  
ということが言えます。

強い性欲を持っていた、というよりは、  
**性欲を強く発揮した**、というのが正しいところだと思  
います。

だから、団塊世代の人たちは、  
たくさん子供を産んだわけですね。

その子供たちが、いわゆる、

団塊ジュニア世代（1971年～1974年生まれ）と呼ばれる人たちです。

団塊ジュニア世代は、  
1学年、**210万人以上**いました。

一方、現在（2017年）の一学年の子供の数は？  
⇒94万人

当時はそれぐらい、  
子供の数が多かったわけです。

性欲が、強く肯定されていた時代だった、  
ということが言えると思います。

脱線したので、話を戻します。

団塊世代の人たちが性欲を強く発揮した結果、  
日本に物質的な豊かさをもたらしました。

それはすなわち、  
食べ物が、十分に確保されるようになったし、  
生活に必要な家電製品なども、十分に普及するようになったわけです。

ただ同時に、問題も起きるようになりました。

それは、  
アクセルを踏み続けた結果、事故も多発した、  
ということです。

どういうことか？

アクセルとは、**性欲**のこと。

性欲が強い男性が増えれば、当然、  
浮気、不倫、セクハラ、

もっとひどいケースで言えば、性犯罪などといったものが、  
過去 20 世紀には、多発したのです。

“男尊女卑”といった

**男性が上**で、  
**女性が下**といったような、

男性が女性を見下しているような、  
社会的風潮が出来上がったのです。

これにより女性は、  
社会の仕組みとか、風潮といったものによって、

自分たちの人権を、抑え込まれるようになったのです。

明らかに、男女不平等な社会でした。

**これは問題だ！**

ということで、

日本社会は、男性の性欲を**制御するような方向**へ動き  
だしました。

具体的なことを言えば、

テレビ、新聞、雑誌、ラジオなどで

性を意識させるような、写真や動画や文章などといったものを、

どんどん少なくすることによって、

男性の性欲を、発揮させないようにしました。

また別のところでは、**学校教育**が挙げられます。

道徳的な観念を、子供たちにより強く教え込むことによって、  
そもそも、性欲を発揮させない教育を施したのです。

道徳というのは、

アクセル（性欲）とブレーキ（良心）のどちらを強化させるのか？

と言えば、

## ブレーキ（良心）を強化させる教え

なのです。

道徳とは、言葉で定義できない“良心”というものを  
なんとか言語化して、人として正しい在り方を記したもの。

“良心的であるならば、どう在るべきか？”

という問いに対しては、

女性に対して、卑猥なことは考えない。

そんなことを考えるなど、**もってのほか！**

そんな教えです。

もちろん、その通りです。

女性に卑猥なことをすれば、  
それは明らかな性犯罪ですし、人として間違っています。

私が問題として指摘したいのは、  
日本社会が、道徳を学校教育に組み込んだことではありません。

アクセル（性欲）とブレーキ（良心）のうち、  
ブレーキを強化させる教えが、道徳です。

幼いころから、道徳を教え込まれた子供たちは、  
性に対して、**あまり肯定的ではない観念**を持  
つようになった、ということが言えると思います。

もちろん、間違っていないです。

ただ、その観念を持つことによって、子供たちは、  
ブレーキを踏みすぎている（性欲を発揮しない）大人の男性へと育った、  
ということが言えると思うのです。

結果、表面上、仕事も恋愛も無気力に見える、  
いわゆる**草食系男子**を多く輩出してしまったのです。

この全体的な流れの影響を、  
あなたも少なからず、受けているはずです。

このことが

あなたの理想を実現させる、  
**一番の大きな邪魔をしている**、ということ  
が言えます。

どういうことか？

もう少し、話を深掘していきます。

確かに、この情報操作によって、  
性を意識する機会が少なくなった男性は、

浮気、不倫、セクハラ、性犯罪を犯すようなことは、  
少なくなりました。

しかしその反面、

そうやって性欲を去勢され続けた結果、

女性とは交流を持たないように生きる人たちも増えた、  
ということなのです。

なぜ彼らは、  
ここまで草食化してしまったのか？

幼いころから、  
道徳的に生きることが正しいことだという教育を受けてきたから、です。

道徳的に正しく生きる。

それはすなわち、  
『女性に対して、性を意識したり、淫らなことは考えないようにしよう』

という生き方です。

今は、  
浮気、不倫、セクハラ、性犯罪といったものが起きれば、

テレビ、新聞、雑誌、ラジオ、インターネットで、

必要以上にその人を叩く、という社会風潮があります。

それを見て、

「俺は、あーはなりたくない。」

と考え、

そもそも、女性に近づかなければ、  
そんな問題は起きない。

こう考える男性が、増えたのです。

100%、その通りです。

そうやって、道徳的に正しく生きることが、  
正解なのだ、と考える若者が増えた結果、

仕事にも恋愛にも、積極的でない

一見、無気力に見える、**草食系男子**が増えた。

そして今度は逆に、

そのことが、

# 少子化をはじめとする社会問題にもつ

ながった、という経緯です。

現在（2017年）、日本の人口は  
1億2600万人です。

その人口が、  
2050年には、9700万人にまで、激減する、  
というデータも出ています。  
（国土交通省のホームページより）

明らかに、**異常です**。

それだけ、男性の性欲を抑え込まれている社会なのだと  
解釈することができます。

この異常な全体的な流れに、  
あなたは飲み込まれるべきではないのです。

あなたは、あなたの願いを叶えるべきです。  
それは、

あなたが理想とする、素敵な恋人を作って、  
その女性を幸せにすること。

男として、**大成すること。**

もちろん、ブレーキ（良心）は必要です。

しかし、ブレーキしか教わっていなければ、

男性は、一番のエネルギー源である**性欲**を發揮することができません。

車には、アクセルとブレーキの両方がなければ、事故を起こしてしまうように、人間にも、アクセル（性欲）とブレーキ（良心）の両方が必要です。

戦後生まれてきた、団塊世代の人たちは、若いころ、

物質的な不足感を埋めるために、アクセル（性欲）を強く踏んでいた。

しかし現代の若い人たちは、

アクセルはあまり踏まずに、ブレーキばかりを強く踏んでいる

ということです。

...

これは、あくまで今の日本社会の全体の流れとして起きていることで、  
繰り返しになりますが、

この影響を、少なからず、“**あなたも**”受けている、  
ということが言えます。

それによって、あなたはあなたの性欲を、  
強く発揮できなくなっているのです。

これは、教育という名の**洗脳**  
と言っても良いかもしれません。

しかし、こういった理由から、  
性欲を去勢され、現実を変えるパワーを奪われていた  
ということが分かれば、

洗脳を解くことは可能です。

問題解決への糸口が見えてきます。

どうすればいいのか？

先ほど申し上げた通り、あなたはすでに、  
S級美女を引き寄せられる男としての力を持っています。

しかし、それは  
性欲を封じ込ませる社会風潮、教育によって、  
今は発揮できずにいる。

## アダルト禁止！

そういった情報によって、性的なものに対して  
否定的な自分へと追い込まれている。

性的なもの、  
いやらしいものは、良くないんだ。

この固定観念が、あなたを苦しめています。

だったら、どうするべきか？

...

この固定観念を、**ぶち壊します**。

そうすれば、性欲を肯定し、  
あなたが持つ最大エネルギーである、性欲を発揮することができます。

“女性に対して、性的な目で見ろな。”  
“いやらしい気持ちは捨てなさい。”

↑

こんな教え（道徳）をぶち壊すには、  
その教えを受けた人が、絶対に取りたくないであろう行動を取ってしまうと、  
刷り込まれた固定観念が崩れ去ります。

念のために言っておきますが、  
もちろん

浮気、不倫、セクハラ、、、性犯罪

こういったことをやっていい、  
という話をしているわけではありません。

そうではなく、  
もっと合法的な手段を取ります。

...

**風俗店**に行きます。

( ° ▽ ° )

「いきなり、何を言い出すんですか!？」

とお思いかもしれません。

が、少し話を聴いて下さい。

人生を変えるのは、**体験**が全てです。

決して、勉強して得た、  
知識やノウハウではありません。

体験から得られたものが、  
あなたの血となり、肉となります。

私はあなたを、その体験へとナビゲートすることで、  
あなたの問題を解決させます。

過去の私と同じように、  
求める女の子の理想が高く、

それがネックで、  
恋愛経験を積むことができずに、苦しい思いをしているあなたには、

この処方箋が、一番効果的だと、  
断言します。

なぜか？

**恋愛経験**を一気に積むことができるから、  
です。

よーく、考えてみてください。

まだ、女性との性体験を済ませていない男が、  
女性をリードし、その子を幸せにすることができるか？

...

おそらく、難しいのではないかと、  
私は思います。

特に、S級美女をものにしたいと考えている、  
野心家のあなたであれば、“なおさら”です。

人間は、まだ未知の行動に対して、  
どうしても億劫（おっくう）になってしまうものです。

だから、女性をセックスに誘って、  
その子を幸せな気分させてあげることも、難しくなるわけです。

これでは、どうしても、  
あなたが求める、理想の彼女を手に入れ、その子を幸せにする現実を手に入  
れることは、  
できません。

だからまず、女性をリードし、

その女性に**安心感を与えられる男の器**を創

ることを、考えます。

あなたは、理想とする女性のレベル（ルックスや、内面）が高いので、  
彼女を作って、経験を積む、というのは、あまり現実的ではありません。

だから、風俗のサービスを利用して、  
まず始めの第一歩である、女性との性体験を積みます。

「風俗っていうと、男として落ちぶれたところに行くようで、何か、嫌だ・・・。」

おそらく、この心理的ブロックを、  
とてつもなく強く感じていると思います。

これこそ、道德教育の一番の弊害になっているところです。  
この心理的ブロックは、無視するべきです。

一回、女性との性的な交わりを体験してしまうと、  
そこから、女性をリードできる男の器が創られ始めていきます。

人生が好転していくのです。

現実を変えることができます。

「でも、女の子からすると、  
風俗に行くような男って毛嫌いしませんか??？」

こういった、疑問や質問が挙がってくることでしょう。

確かに、その事実だけを聴けば、  
そう思われても、無理はないでしょう。

がしかし、ここでも冷静に考えたいことがあります。

## 女性が、男性に求めるものは何か？

ということです。

あなたは、わかりますか???

...

先ほども、チラッと説明しましたが、

それは、**安心感**です。

“この男性（ひと）と一緒にいると、  
落ち着く。”

“リラックスできる。”

そう思わせてくれる男性に、女性は惚れるのです。

これは、レベルの高い女性であっても、  
同じこと。

だから、そこを満たしてあげればいい。  
という、シンプルな結論を導き出すことができます。

意外に、リラックスを感じさせてくれる男性というのは、  
世の中には、少ないものです。

理由は、さまざまですが、  
一番は、【みんな自分のことだけで一杯いっぱいだから】、ということが言え  
ると思います。

みんな、余裕がないんです。

だからこそ、  
ここに、大きなチャンスがあります。

どういうことか？

努力を積み重ねることで、  
自分の中に、**余裕**を作っていく、その中に、女の子を入れてあげるの  
です。

その器に、女性はあなたに惚れます。

当然、あなたが求める、S級美女も例外なく、  
あなたに惚れます。

理由は、S級美女であっても、  
素敵な器を持った男性には、弱いからです。

スマートに、女性を**エスコート**する。

そんな男性を目指します。

だから、女性から毛嫌いされる手段であっても、  
結果的に、女性から求められる男性になるための体験であるなら、

絶対に積むべきです。

そこに、**信念**を持ちます。

体験を積んで、あなたの中に余裕が生まれたら、  
それは、女性からは見れば、**色気**として映ります。

「たくさん経験して、いろんなことを知ってる男の人って、  
魅力的だと思います。」

そんなふうに話している女性を見たことはありませんか？

ここにも、その女性からの

**“男性にリードしてもらいたい”**

という気持ちが現れていると思います。

なんでも貪欲に経験している男性は、  
女性から求められます。

羨望の眼差しを、女性からもらえるようになります。

すると、どんどん自信がついていきます。

ですので、ぜひ、

人生を変えるための始めの第一歩である、

**風俗店**に行ってください。

一番効果的なのは、

本番行為（セックス）が行える場所です。

ソープランドと呼ばれる場所ですね。

突拍子のないことを話しているかもしれません。

が、真剣にお伝えしています。

「初めて体験は、初めて彼女とがいい・・・」

というピュアな気持ちは、ものすごく分かります。

が、このままでは、

人生に変化をもたらすことは、望めないのです。

(理想が高く、ポテンシャルが高いあなただからこそ。)

そうは言っても、

やはり**心理的なブロック**が、どうしても邪魔してしまう

と思います。

このレポートを読んだだけで、

あなたの気持ちに、大きな変化が訪れるとは、私も思っていません。

人が変わるためには、ある一定の時間を必ず要します。

ですので・・・。

明日からあなたには、

私の無料メール講座を受けていただこうと思います。

そのメールを、毎日読んでいただくことで、

徐々に、あなたの中に、気持ちの変化をもたらしていきます。

そして、最終的に、

**風俗店に行く**、と心に決められるようになるまで、

あなたをしっかりナビゲートしていきます。

大丈夫です。

風俗は、今、あなたが考えているような、  
怖い場所ではありません。

至って、健全な場所です。

そんな素敵なサービスを、  
先入観によって、避けてしまうのは、

あまりにも、もったいない。

あなたの成長を妨げてしまう。

だから、  
この先入観（思い込み）を崩して、  
あなたが、これからよりよい人生をおくるための成長につながることを、

これからお伝えしていきます。

ここまで長文読んでいただき、感謝します。

追伸.

今回のメッセージを受けて、感想などがあればこちらへメールを下さい。  
送ってもらえただけで、とても励みになります ^^

[01changing.project@gmail.com](mailto:01changing.project@gmail.com)

---

---

執筆：yuki 塩野

ブログ：<https://ameblo.jp/yukies-life/>

Youtube チャンネル：<https://bit.ly/2K3eWN6>

---

---